

ひきこもり家族会が問う、あなたが大切にしたい生き方とは？
自分らしい生き方シンポジウムin関東
「こんな生き方働き方、あってもいいよね」を開催します
～ゴールありきの就労支援から、生きる意欲を支える多様な生き方支援へ～

報道機関 各位

このたび、KHJ 全国ひきこもり家族会連合会は、唯一のひきこもりの全国組織（55 地域、3800 家族）を持つ当事者家族会として、誰もが生きやすい社会に向けて、掲題のシンポジウムを開催いたします。

国や自治体のひきこもり支援の考え方は、これまで就労支援が中心でした。しかし、ひきこもりの長期高齢化に伴い社会的孤立（80－50 問題：80 代の親と未婚無職の 50 代のひきこもる本人が地域で孤立し共倒れになる問題）はますます進んでいます。ゴールありきの就労支援は必ずしも本人のニーズと合わず、就労支援の 39 歳という年齢制限もひきこもり長期高齢化の一因になったと言われています。また、「自立支援ビジネス」に見られる暴力的、強制的な支援も横行しています。こういった既存の支援に追い詰められ疲弊し、ひきこもりを深めてしまう本人や家族も少なくありません。当会の調査によると、支援機関の中断は家族会全体の 4 割以上に上っています（KHJ 調べ 境 2017）。一方で、「あなたが就労や自立に捉われず、生きる上で最も大切に思っていることは何ですか」という質問に対し、最も多かった当事者本人の回答は「自分らしさ、人間らしさ」でした。世間や周囲の評価を基準に幸せを計る生き方ではなく、今のありのままの自分を大切に作る生き方を求める声です。

こういった現状を踏まえ、本シンポジウムでは、就労や自立、「こうあるべき」という固定した価値観に捉われず、生きる意欲を支えるものや、生きる上で自分が大切にしたいもの、多様な生き方や働き方を、改めて問い直します。

当日は、ひきこもりの経験者、支援に携わる人、自分なりの生き方を実践している 12 名が、自らの生き方を発信し、参加者と共に、多様な生き方、働き方を考えます。誰もが生きやすい社会に向けて、その人なりの幸せ、価値観、ライフスタイル、自己表現を通し、新しい未来を考えるシンポジウムです。

【開催日時・場所】

●日時 2019 年 1 月 14 日(月・祝)12:30～18:00

●会場及び所在地 IKE Biz としま産業振興プラザ 6F （東京都豊島区西池袋 2-37-4）
多目的ホール(メイン会場) 第 2・第 3 会議室（分科会会場）

●シンポジウム＆ブースセッション 12 名の出演者の発表とディスカッションの後、参加者との交流を行います。

【本件の問い合わせ】

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 3-16-12-301

TEL : 03-5944-5250 090-4058-4487 FAX : 03-5944-5290

特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会本部事務局 上田 森下 jka2018@khj-h.com